



自修館中等教育学校

自主・自律の精神に富み
「自学・自修・実践」できる生徒を育成



海外に行かなくても、校内でいつでも異文化に触れることができるスペース「グローバルラウンジ」がニューオープン



小川 亨
校長

探究、グローバルマインド EQ教育が3本の柱

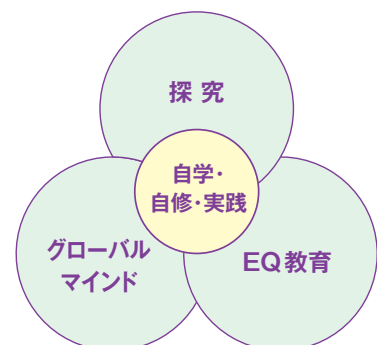
自修館中等教育学校は1999年に創立。神奈川県内では2番目にできた私立の中等教育学校です。同じ学園の向上高等学校と隣接していますが、別学校となっており、カリキュラムはもちろん、部活動などもそれぞれで行っています。「1学年120人という人数なので、教員と生徒の顔と名前が一致しやすいのいいところ。創立26年となり、地域の中での認知度も上がってきて、近隣からの入

大藤 行央 教頭
教務センター室長

学者が多く、地域に根付いてきたと感じています」と話すのは校長の小川先生。同校の教育目標は、「自主、自律の精神に富み、「自学・自修・実践」できる生徒の育成」で、「探究」「グローバルマインド」「EQ教育」を学びの柱とした教育を実践しています。「一人ひとりが夢中になれるものとの出会い、勇気を出してチャレンジできる環境を用意しています。諦めずにチャレンジする力と自信を育てています」(小川校長先生)

独自の必修探究授業 「CAIR」プログラム

同校では独自の必修探究授業「CAIR」プログラムを1年生から導入しています。教頭の大藤先生は、「本校は創立当初から探究活動に力を入れてきました。やりたいことを見つけ、好きなことを積み上げていきます。ただ好きなだけでなく、自分が興味のある分野から社会と向き合う。この社会で起きていることに対し、自分には何ができるのか。どう社会に貢献できるのか。世の中とどうつながっていくのか。これらを踏まえて問いを立て、課題解決に臨みます」と話します。1・2年では伊勢原市役所、近隣の大学などと連携し、取材活動を行います。3年生か



「自学・自修・実践」できる生徒の育成のため、「探究」「グローバルマインド」「EQ教育」を学びの柱とした教育を実践



①1・2年生の探究では取材活動に出かける②3・4年生では一人ひとりが決めたテーマについて探究活動を行い、論文にまとめて発表する③1年生から参加できるセブ島語学研修④2～6年は、ハワイやニュージーランドなど短期から1年留学までメニューが豊富⑤本だけでなく人の魅力を存分に発揮できる図書館「com+com」(コムコム※詳細コラム参照)

で選ぶケースもあります。

多様な価値観を持つ人と協働するグローバル教育

グローバル教育も同校の教育の柱のひとつです。英語科の小野先生は、「本校では英語はツールという考えのもと、「多様

な価値観を受け入れ、世界の仲間と協働して共通課題に取り組んでいける人」の育成に向けてグローバルマインドを養います」と話します。6年間を1・2年、3・4年、5・6年の3段階に分け、生徒の発達段階に応じたグローバルプログラムを

小野 琴美
英語科主任

展開。1・2年生では英語に興味を持つところから異文化への関心を高めます。3年生以上になると海外研修に参加し、実際に異文化体験、交流を行うことができます(セブ島語学研修は1年生から参加可能)。4年生からはターム留学、長期留学に参加することも可能で、海外大学進学希望者は支援を受けることもできます。また、同校では2人のネイティブ教員が入るA

古跡 雅宣
入試広報室長

E(アクティブイングリッシュ)という授業を全学年で展開。日英会話からペアワーク、プレゼンテーションなどを行い、ライティングやスピーキングにも取り組みます。さらに、ネイティブ教員によるショートホームルームの時間や、夏休み、春休みの「イングリッシュデイ」など、国内でも英語に親しめる機会を多く設けています。

人間力を高める EQ教育

同校では、EQ (Emotional Intelligence Quotient) と呼ばれる「こころの知能指数」を育てる「EQ教育」を実践しています。「EQというのは感情と行動の間にあるものだといわれています。嫌な思いをしたときに苛立ちを人につけるのか、冷静になって考えられるのか。それはEQによるところなので、EQがきちんと醸成され、高まっている人であれば、その場には

応じて適切な行動がとれます。EQはトレーニングによって高めることが可能です(入試広報室長・古跡先生)。同校のEQ教育は道徳的な内容も組み合わせ、情熱を持って困難な目標に挑む力や、相手の状況を読み取り、共感や理解を土台としたコミュニケーションを築く力など「人間力」を高めます。学期に1回EQ診断を行い、診断結果から自分の性格や特性を知ったうえで他者への感情や行動をどのくらいコントロールできているかを客観視します。SS(セルフサイエンス)授業ではその分析を通して自分と他者の感情や行動の違いを再確認し、コミュニケーション能力や感情をコントロールする力を発達段階に応じて育みます。他者理解、自己理解を深めることにより、自己肯定感を高めることにもつながります。



PICK-UP 図書館「com+com」と豊富な自習スペース

同校の図書館「com+com(コムコム)」は、従来の図書館とはひと味違う、アットホームな空間。名前の由来は「Communication, Company, Comfortable, Combination, Common, Community」のComで始まる6つの単語から成っている。館内のイベントスペースでは同校が創立当初から力を入れてきた探究の成果を自由に発表することができ、箱根駅伝、いきもの、組立ブロックなど好きなものを研究した作品が展示されている。生徒が企画したイベントも不定期で開催されており、本に親しむことはもちろん、好きなことを仲間と共有できる図書館となっている。卒業生を含む縦横のつながりが密なもの特徴。また、同校は広々とした廊下が特徴で、校内のさまざまなところに自習スペースが設けられている。

